

# 子供のいる世帯における 夫と妻の2次活動時間の 差異について

—社会生活基本調査の匿名データを用いて—

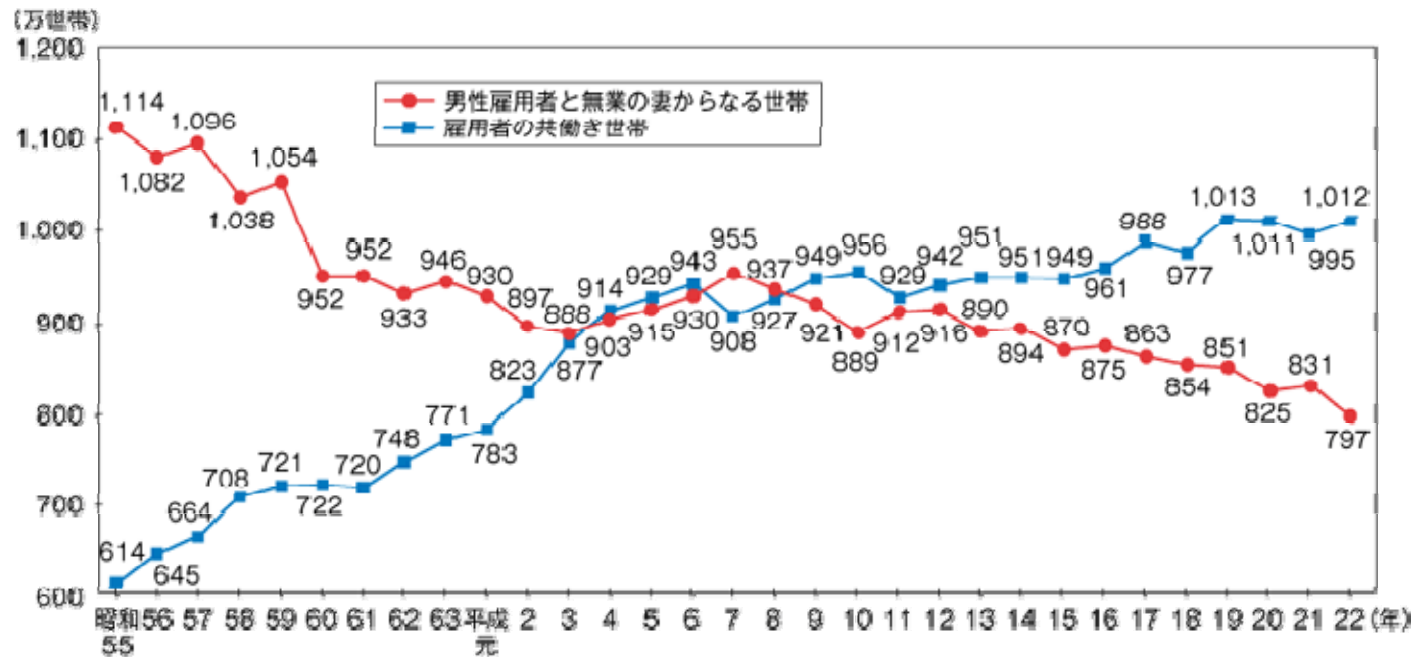
(財)統計情報研究開発センター  
古市 耕一郎

# 目的

- 男女共同参画社会の形成に向けた取り組みが進められている。
  - － 男女共同参画基本法(1999年施行)
  - － 男女共同参画社会とは、「男女が、社会の対等な構成員として、自らの意思によって社会のあらゆる分野における活動に参画する機会が確保され、もって男女が均等に政治的、経済的、社会的及び文化的利益を享受することができ、かつ、共に責任を担うべき社会」
- 「実現するための5本の柱」のひとつに「家庭生活における活動と他の活動の両立」
  - 男女が対等な家族の構成員として、互いに協力し、社会の支援も受け、家族としての役割を果たしながら、仕事や学習、地域活動ができる。

⇒社会生活基本調査の匿名データ(マイクロデータ)を用いて、夫と妻の家庭生活における活動の特性を分析

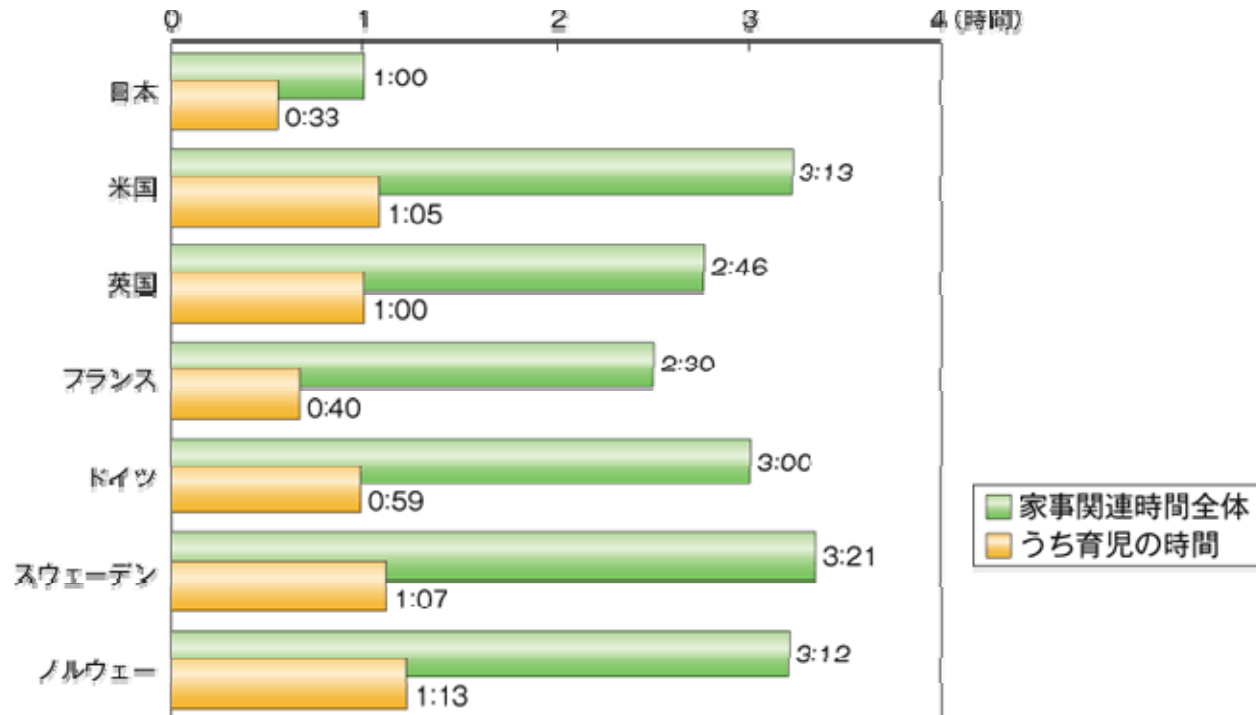
# (参考) 共働き世帯数の推移



- (備考) 1. 昭和55年から平成13年は総務省「労働力調査特別調査」(各年2月。ただし、昭和55年から57年は各年3月)、14年以降は「労働力調査(詳細集計)」(年平均)より作成。  
 2. 「男性雇用者と無業の妻からなる世帯」とは、夫が非農林業雇用者で、妻が専業主婦(非労働力人口及び完全失業者)の世帯。  
 3. 「雇用者の共働き世帯」とは、夫婦ともに非農林業雇用者の世帯。

内閣府「男女共同参画白書(平成23年版)」より引用

# (参考)6歳未満児のいる夫の家事・育児 関連時間(1日当たり)



- (備考) 1. Eurostat "How Europeans Spend Their Time Everyday Life of Women and Men" (2004), Bureau of Labor Statistics of the U.S. "America Time-Use Survey Summary" (2006) 及び総務省「社会生活基本調査」(平成18年)より作成。  
2. 日本の数値は、「夫婦と子どもの世帯」に限定した夫の時間である。

内閣府「男女共同参画白書(平成23年版)」より引用

# 分析のポイント

- 共働きか否か
- 小さな子供がいる世帯
- 親と同居しているか否か

という観点から、社会生活基本調査の匿名データを用いて、家事・育児に費やす時間について分析

# 平成13年社会生活基本調査の概要

- 調査の期日
  - 平成13年10月20日現在で実施
  - 生活時間については、10月13日(土)から10月21日(日)までの9日間のうち、調査区ごとに指定した連続する2日間について調査
- 調査の対象
  - 約7万7千世帯に居住する10歳以上の世帯員約20万人が対象

# 生活行動の種類

- 1次活動:
  - 生理的に必要な活動
    - 睡眠、身の回りの用事、食事
- 2次活動:
  - 社会生活を営む上で義務的な性格の強い活動
    - 通勤・通学、仕事、学業、家事、介護・看護、育児、買い物
- 3次活動:
  - これら以外の各人が自由に使える時間における活動

# 家事・育児の内容例示

- 家事

- 炊事、食後の片付け、掃除、ごみ捨て、洗濯、アイロンかけ、つくろいもの、ふとん干し、衣類の整理・片付け、家族の身の回りの世話、家計簿の記入、庭の草取り、銀行・市役所等の用事、車の手入れ、家具の修繕

(備考)

- 通勤・通学者などの送迎を含む

- 育児

- 乳児のおむつの取り替え、乳幼児の世話、子供の付添い、子供の勉強の相手、授業参観、子供の遊びの相手、運動会の応援

(備考)

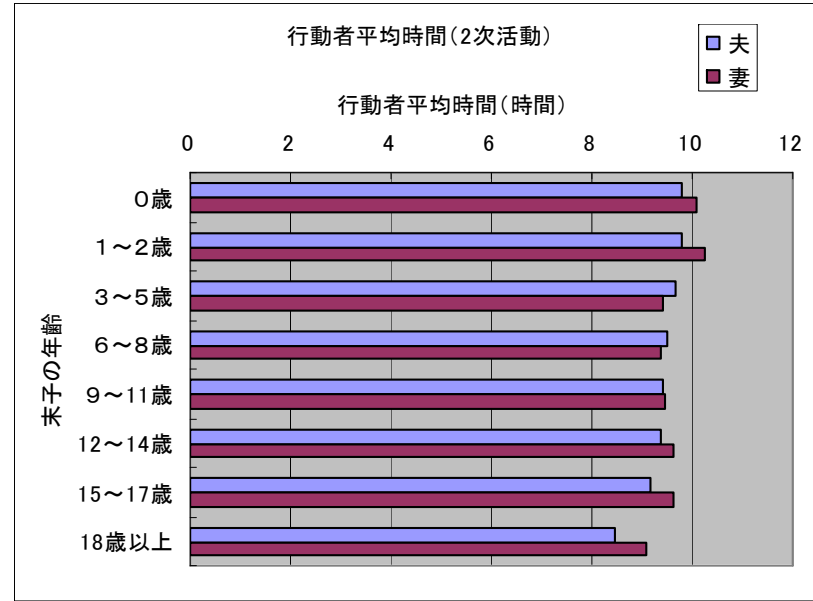
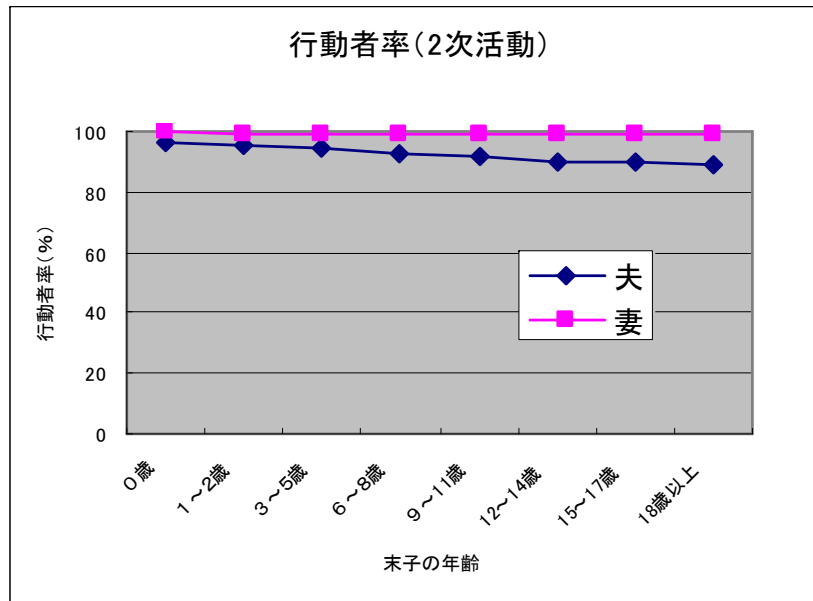
- 子供の教育に関する行動を含む
- 就学後の子供の身の回りの世話は「家事」
- 運動会に参加した場合は「スポーツ」



# 行動者率、行動者平均時間

—公表結果(e-Stat)より—

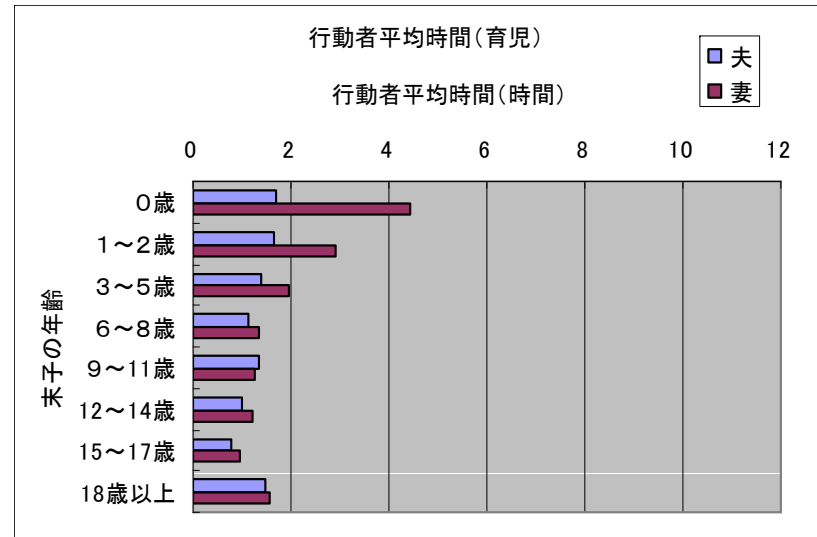
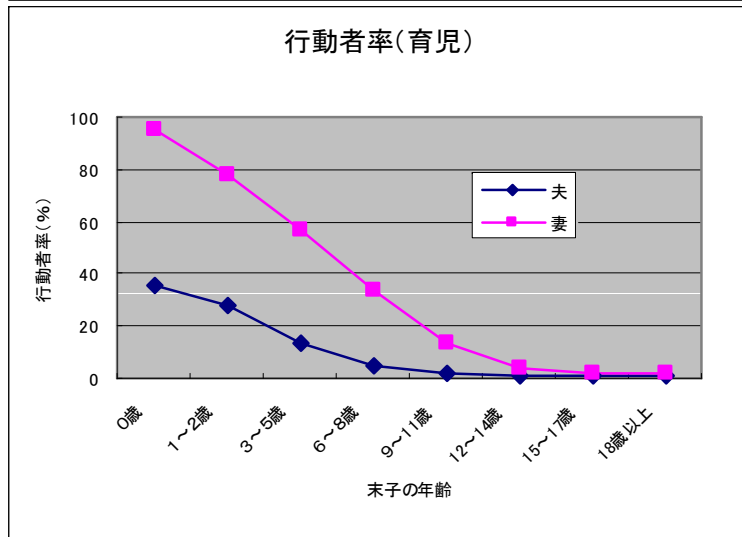
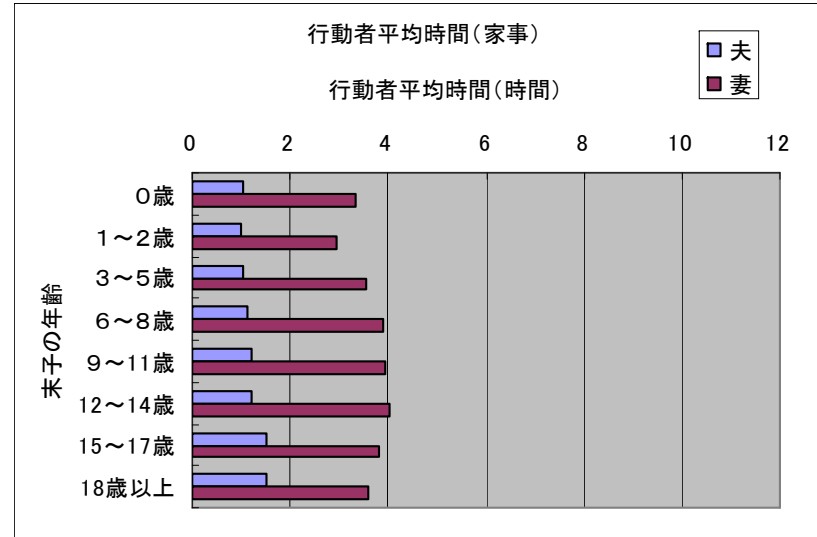
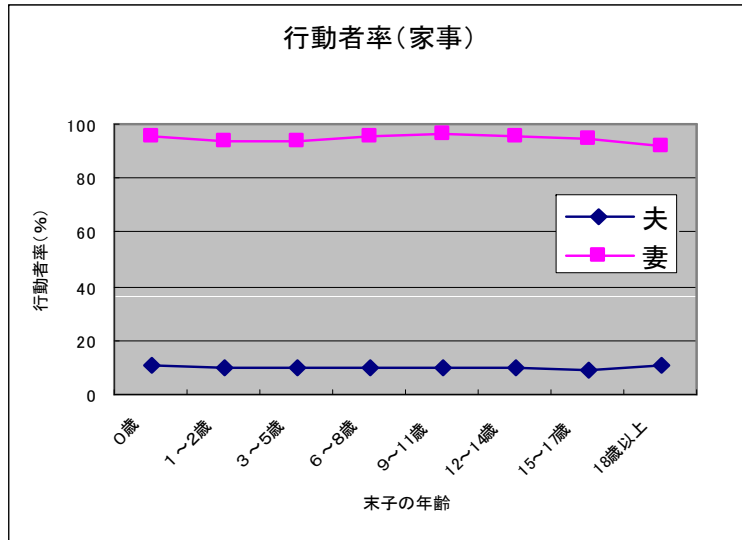
- 子供のいる世帯(有業者、週全体)



平成13年社会生活基本調査(総務省統計局)

# 行動者率、行動者平均時間

—公表結果(e-Stat)より—



# 匿名データを用いた分析の観点

- 公表結果から分からない点など
  - 妻の就業時間が短い場合も有業者に含まれる。  
⇒匿名データには、「共働きか否か」という分類事項の中に、共に雇用されている世帯のうち週の就業時間が「妻が35時間以上」の項目がある。
  - 「世帯の家族類型」、「共働きか否か」、「末子の年齢」のクロス集計を行う。

# 「世帯の家族類型」の注意点

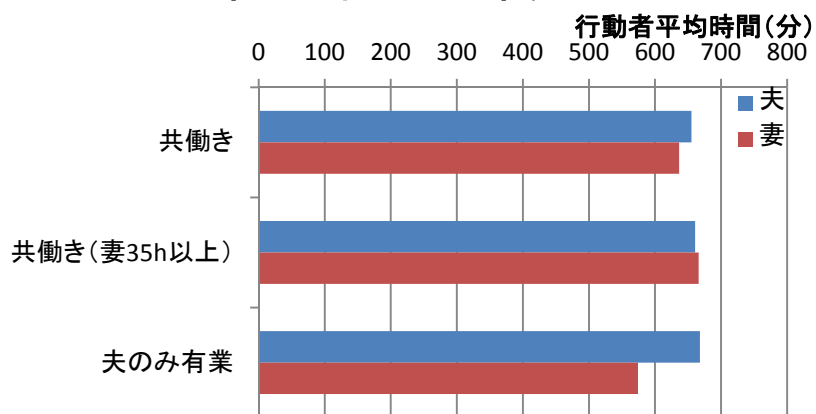
- 「夫婦、子供と両親（ひとり親）の世帯」
  - － ここでいう「両親（ひとり親）」は、夫婦にとっての親を指している。子供にとっては祖父母にあたる。

「世帯の家族類型」における夫婦は、世帯内で最も若い世代の夫婦のことをいう。世帯内に2組以上の夫婦がいる場合の夫・妻とは、この夫婦に該当するものをいい、親、子供（未婚の子に限る。）とは、この夫婦からみた続き柄としての親または子供をいう。

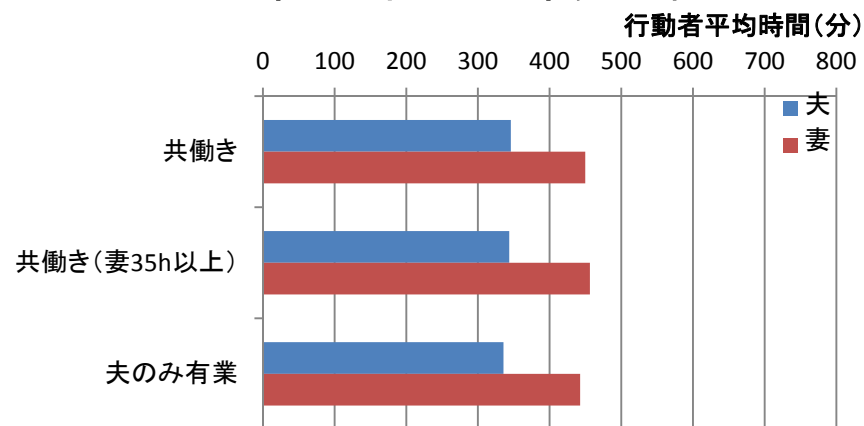
（「用語の解説」より）

# 2次活動の行動者平均時間(末子の年齢3歳未満) —匿名データより—

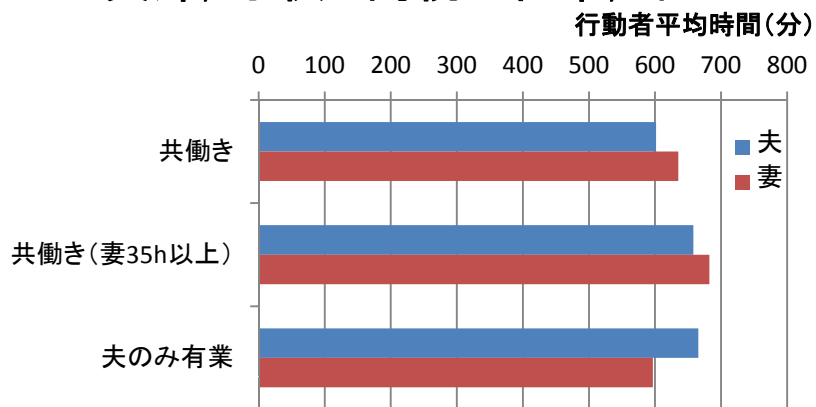
## 夫婦と子供の世帯, 平日



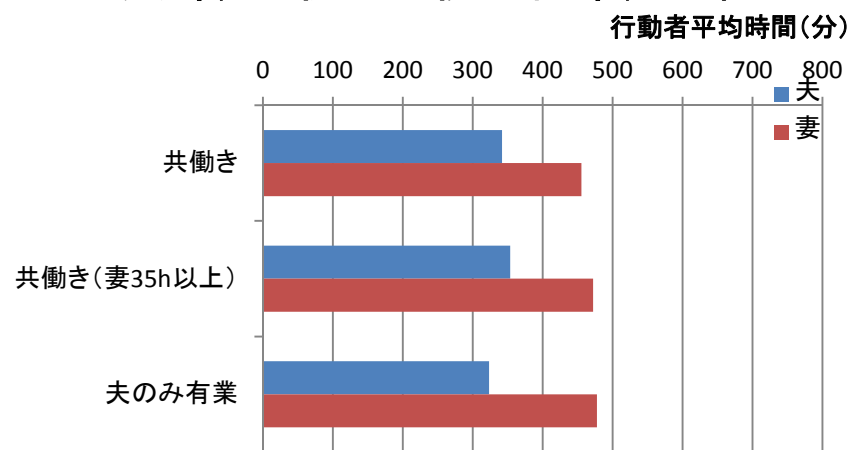
## 夫婦と子供の世帯, 日曜



## 夫婦, 子供と両親の世帯, 平日



## 夫婦, 子供と両親の世帯, 日曜



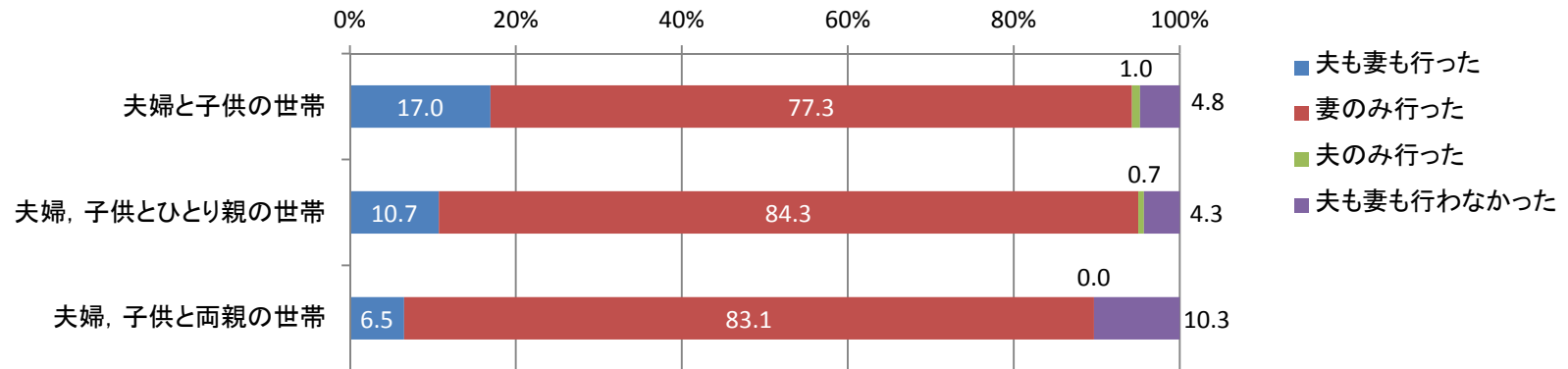
# グラフから読み取れる傾向

- 平日：
  - － 共働き世帯は、夫より妻の2次活動時間が長い傾向にある。
- 日曜：
  - － 共働きか否かによらず、妻のほうが2次活動時間が長い。

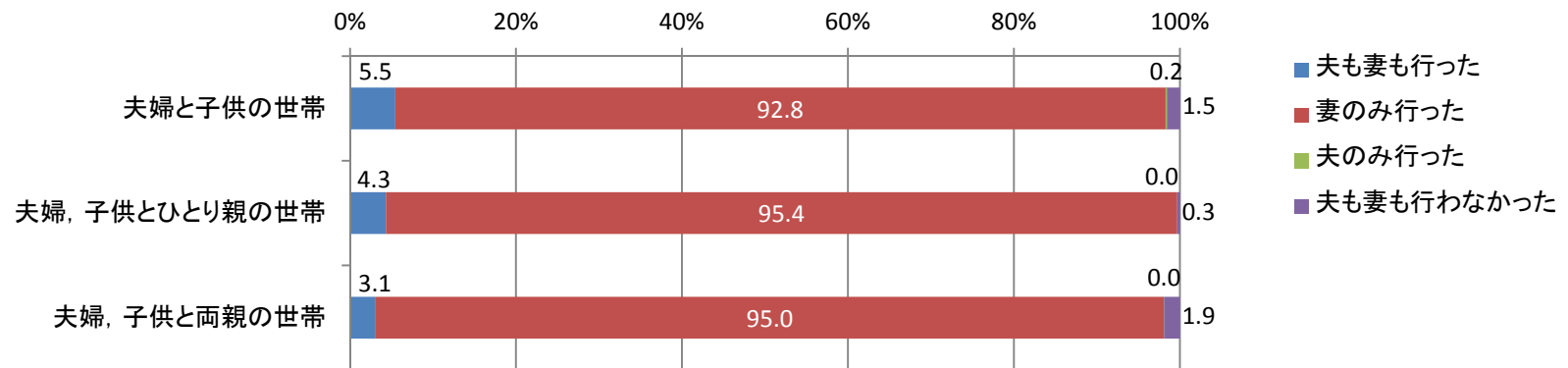
# 一日のうちに家事又は育児を行ったかどうか (平日)

共働き世帯※, 末子の年齢10歳未満

※共に雇用され, 妻の就業時間が週35h以上



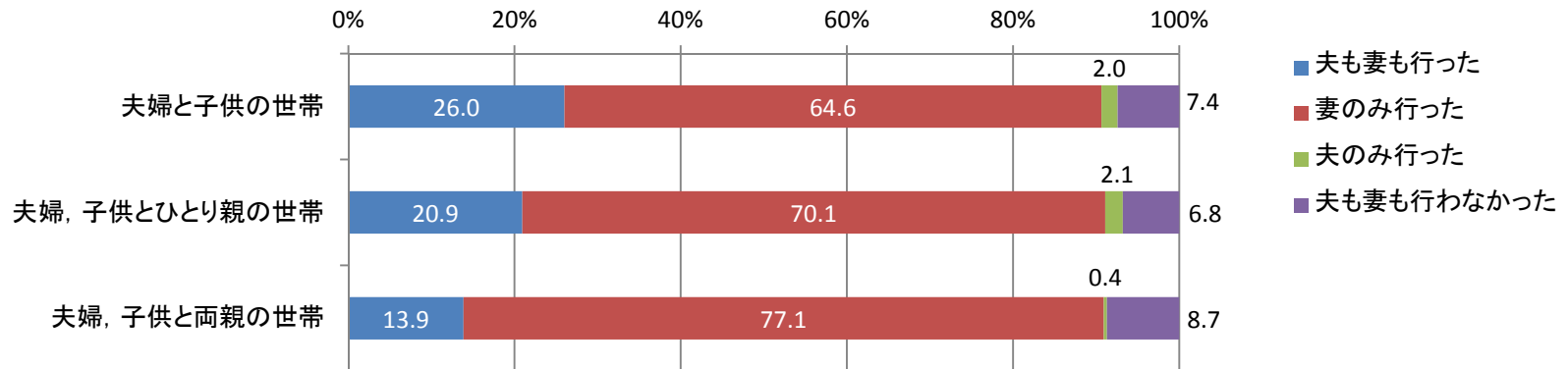
夫のみ有業の世帯, 末子の年齢10歳未満



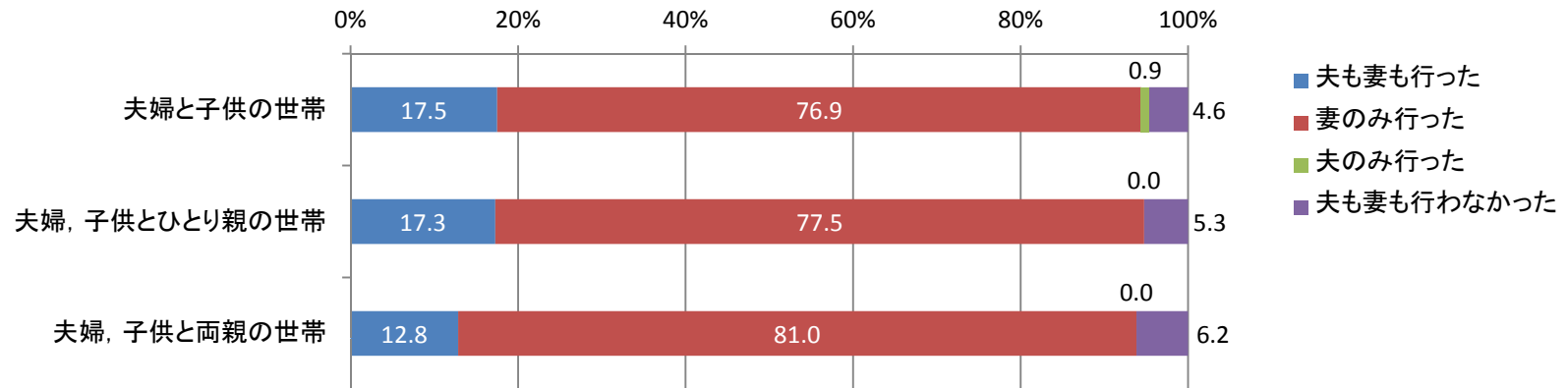
# 一日のうちに家事又は育児を行ったかどうか (日曜)

共働き世帯※, 末子の年齢10歳未満

※共に雇用され, 妻の就業時間が週35h以上

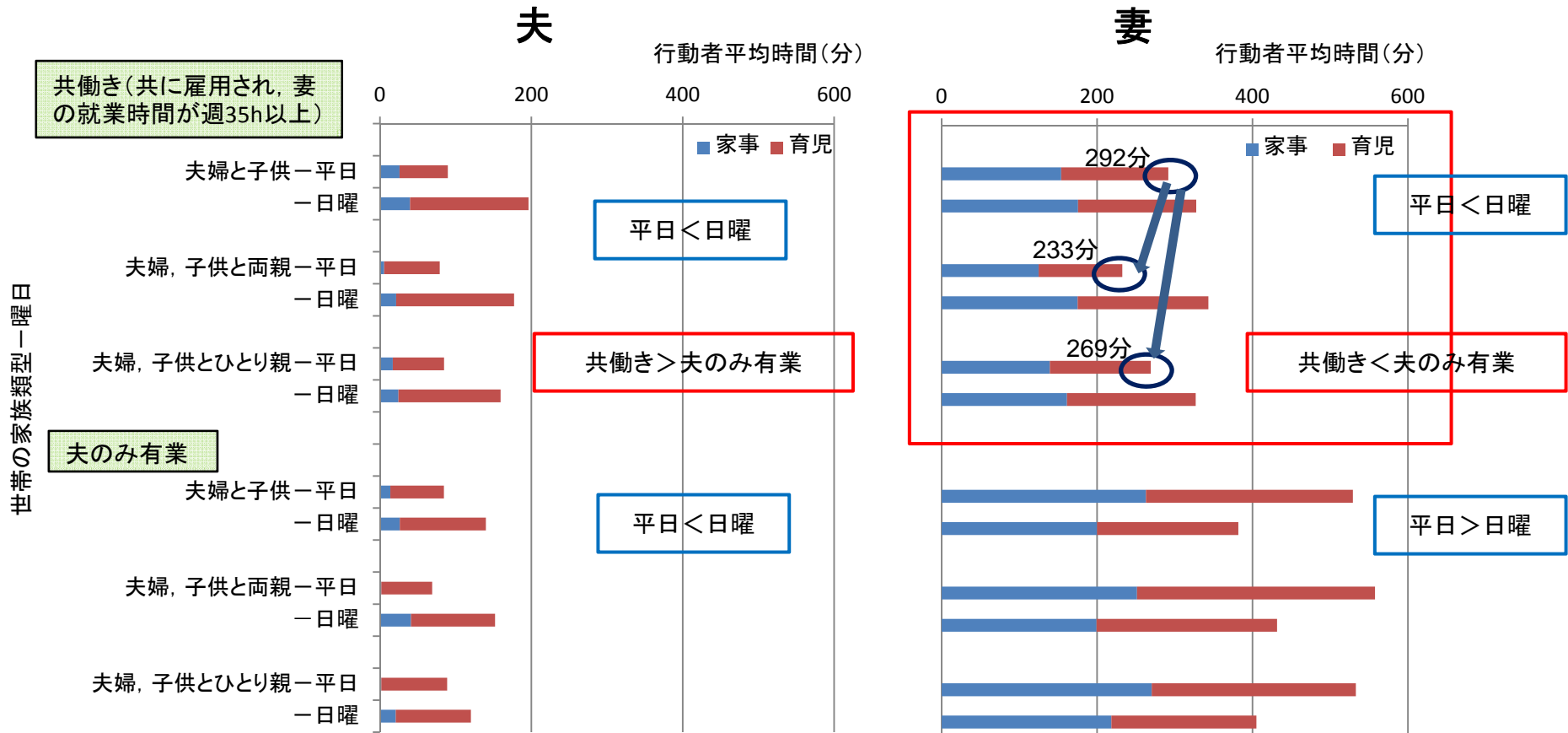


夫のみ有業の世帯, 末子の年齢10歳未満

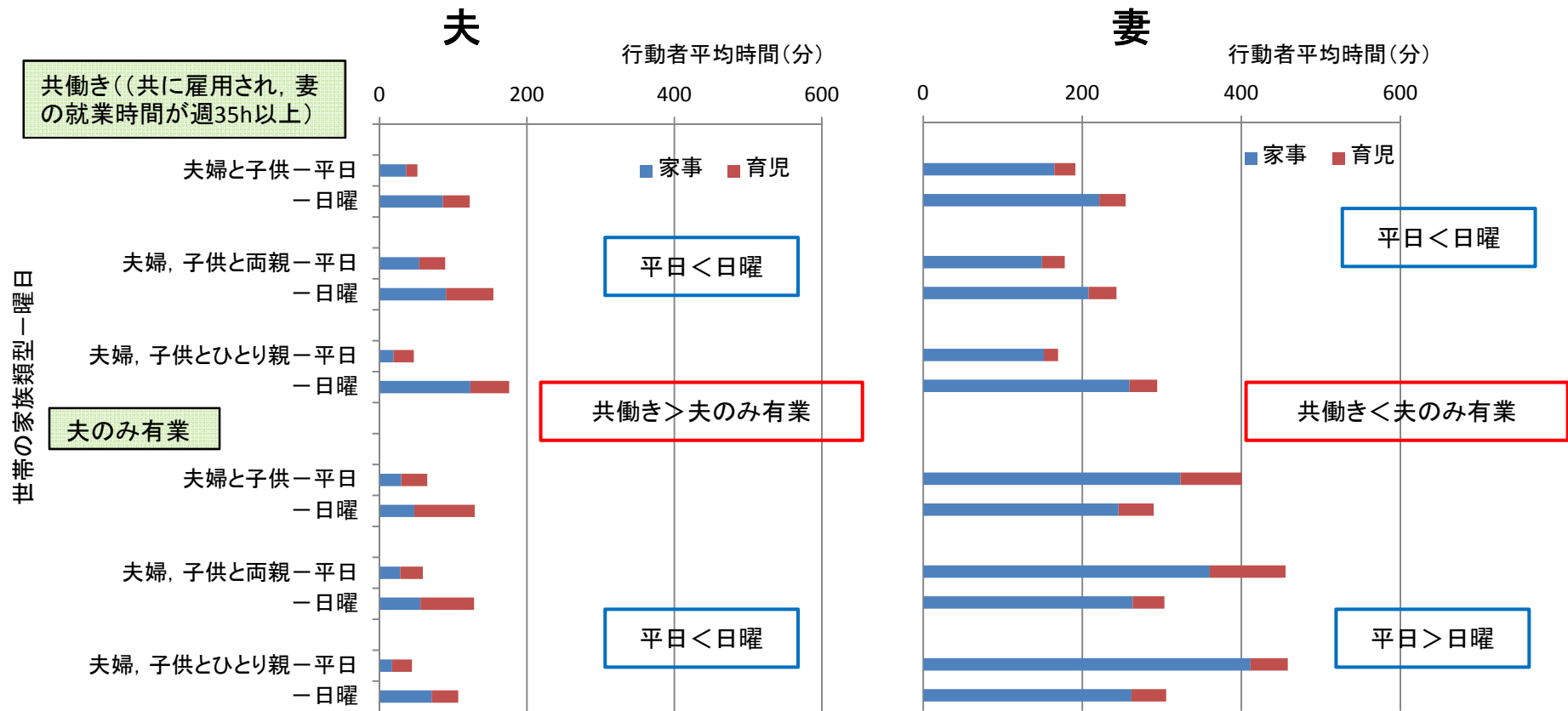




# 家事・育児の行動者平均時間 (末子の年齢0~3歳)



# 家事・育児の行動者平均時間 (末子の年齢4～9歳)



# グラフから読み取れる傾向

- 共働き世帯のほうが、夫の家事・育児の参加率（行動者率）が高く、費やす時間は長い。
  - それでも、妻に比べると行動者率、行動者平均時間ともに低い。
- 親と同居しているほうが、夫の家事・育児の参加率は低い。
  - 夫婦とも、家事・育児を行わない日のある世帯も一定の割合いる。
- 親と同居している世帯の妻の家事・育児に費やす時間⇒共働き世帯の平日は減少。

## 同居の親と夫婦と、どちらが世帯主か

「世帯の家族類型」における夫婦は、世帯内で最も若い世代の夫婦のことをいう。世帯内に2組以上の夫婦がいる場合の夫・妻とは、この夫婦に該当するものをいい、親、子供(未婚の子に限る。)とは、この夫婦からみた続き柄としての親または子供をいう。

(「用語の解説」より)

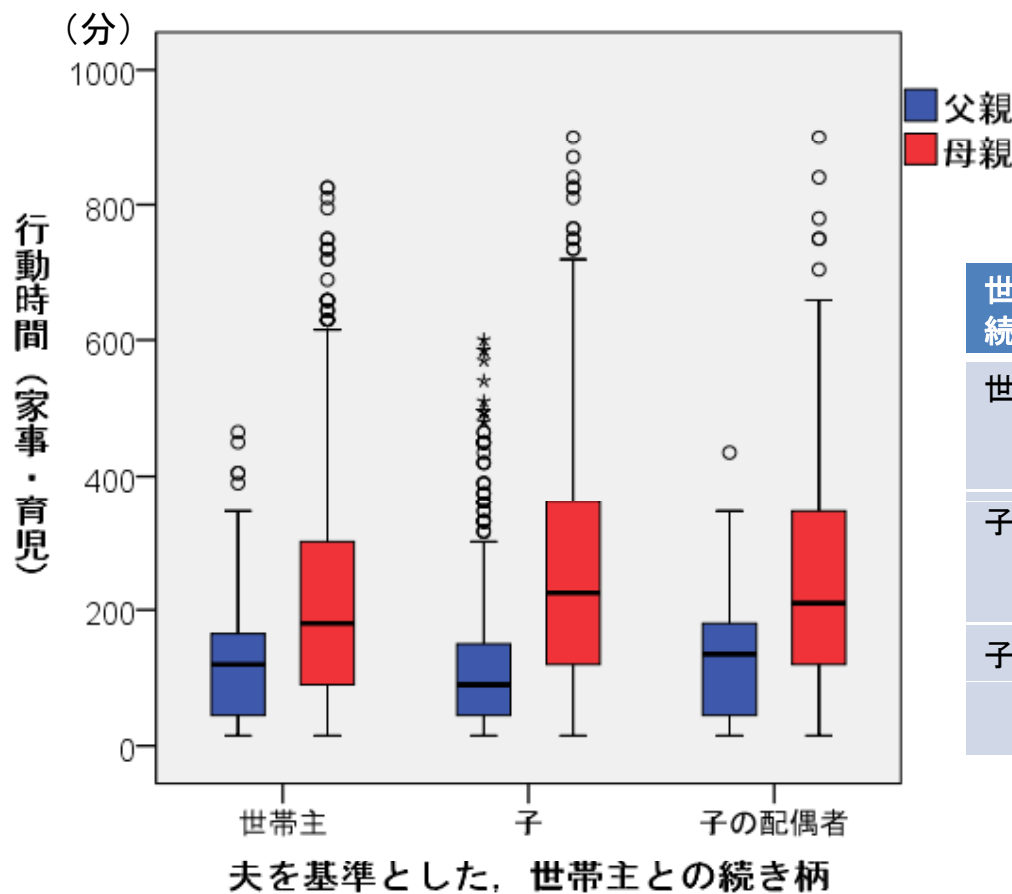
そこで、「世帯の家族類型」における「夫婦、子供と両親の世帯」、「夫婦、子供とひとり親の世帯」に属する、末子の年齢が10歳未満の「夫」の「世帯主との続き柄」の割合を集計すると、

世帯主との続き柄	割合(%)
世帯主	40.1
世帯主の配偶者	0.2
子	51.9
子の配偶者	7.8

親が世帯主となっている場合が過半数

# 同居している親の行動時間の分布 （「夫を基準とした，世帯主との続き柄」別）

末子の年齢10歳未満



子供にとっての祖父母

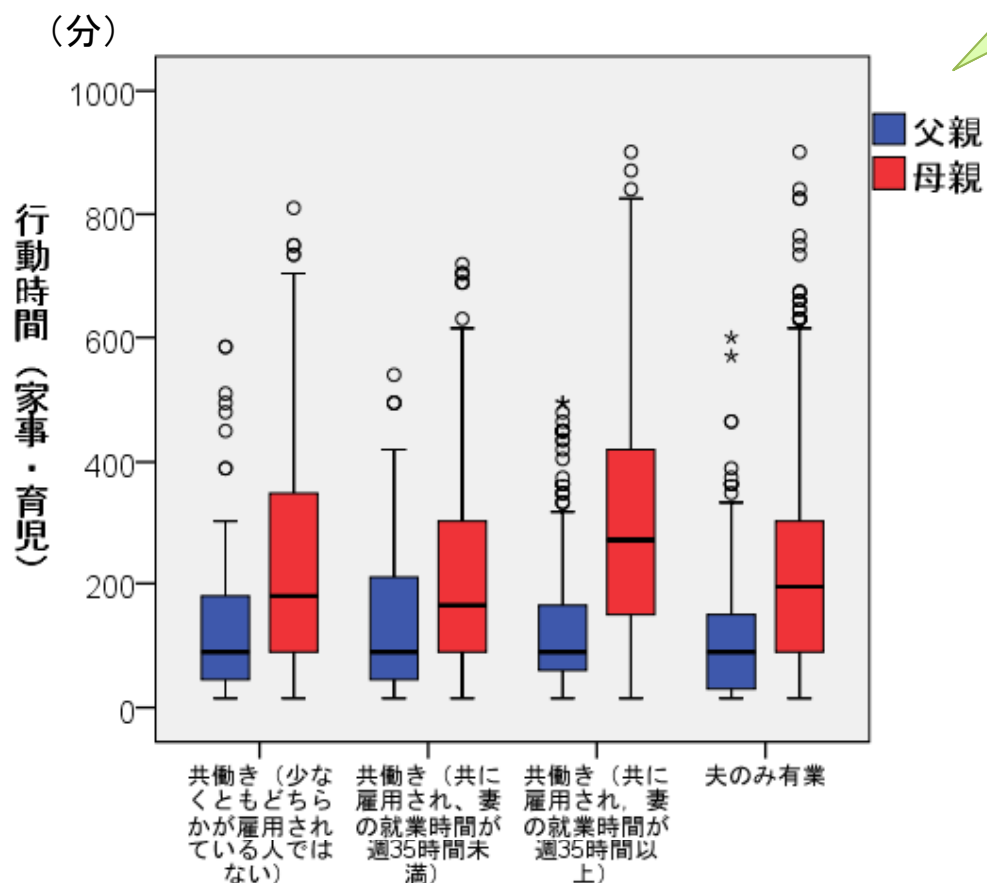
世帯主との 続き柄	性別	行動者率 (%)	行動者平均 時間(分)
世帯主	父親	17.0	128.5
	母親	74.2	216.4
子	父親	19.2	126.0
	母親	85.0	253.6
子の配偶者	父親	17.9	126.9
	母親	85.9	246.0

# 同居している親の行動時間の分布 （「夫婦が共働きか否か」別）

週全体

末子の年齢10歳未満

子供にとっての祖父母



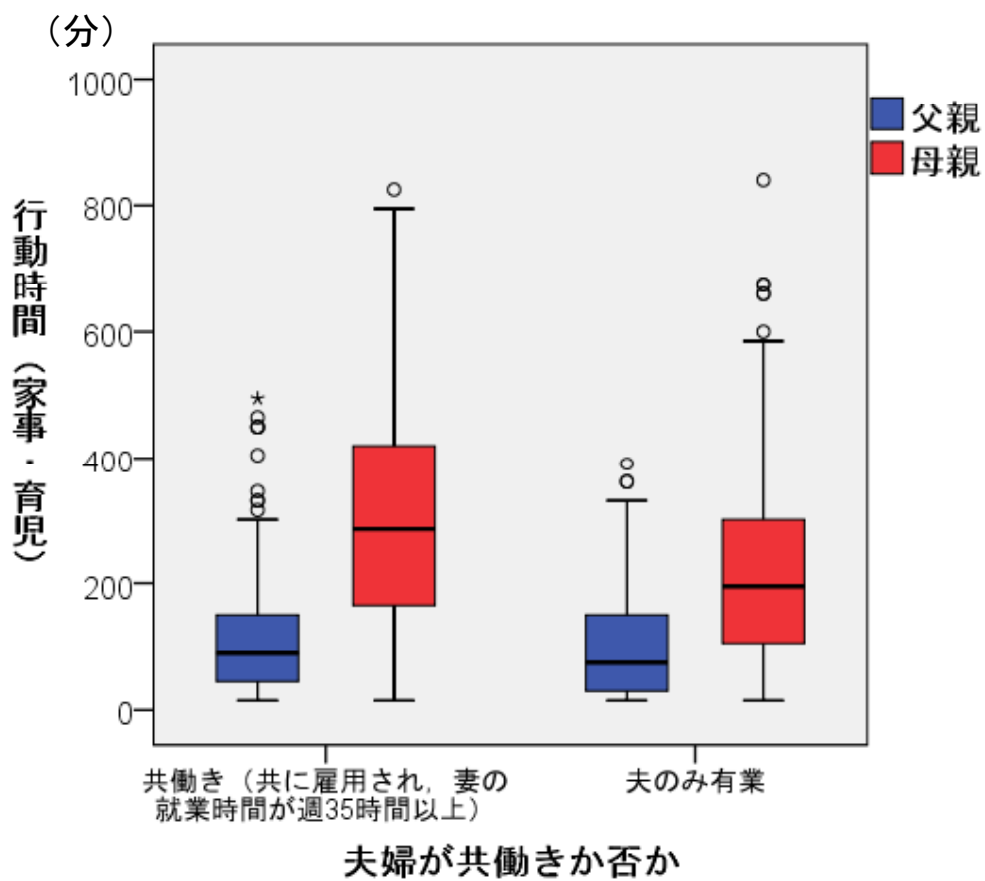
共働きか否か	性別	行動者率 (%)	行動者平均時間 (分)
共働き (少なくともどちらかが雇用されている人ではない)	父親	14.1	133.3
	母親	74.7	226.5
共働き (共に雇用され、妻の就業時間が週35時間未満)	父親	14.5	144.9
	母親	85.3	210.4
共働き (共に雇用され、妻の就業時間が週35時間以上)	父親	26.5	130.5
	母親	88.9	299.6
夫のみ有業	父親	17.9	119.6
	母親	78.1	217.4

夫婦が共働きか否か

# 同居している親の行動時間の分布 （「夫婦が共働きか否か」別）

平日

末子の年齢10歳未満



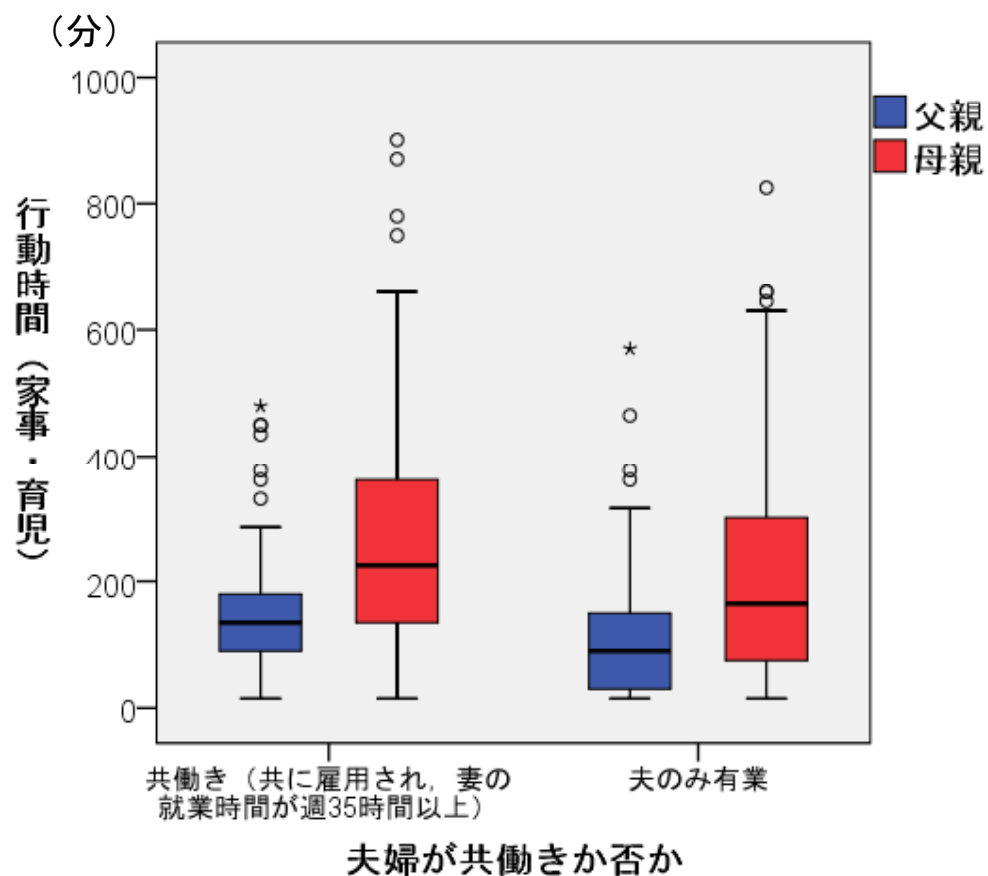
子供にとっての祖父母

共働きか否か	性別	行動者率 (%)	行動者平均時間(分)
共働き（共に雇用され、妻の就業時間が週35時間以上）	父親	27.3	120.0
	母親	91.9	303.6
夫のみ有業	父親	16.6	112.2
	母親	78.2	219.8

# 同居している親の行動時間の分布 (「夫婦が共働きか否か」別)

末子の年齢10歳未満

日曜



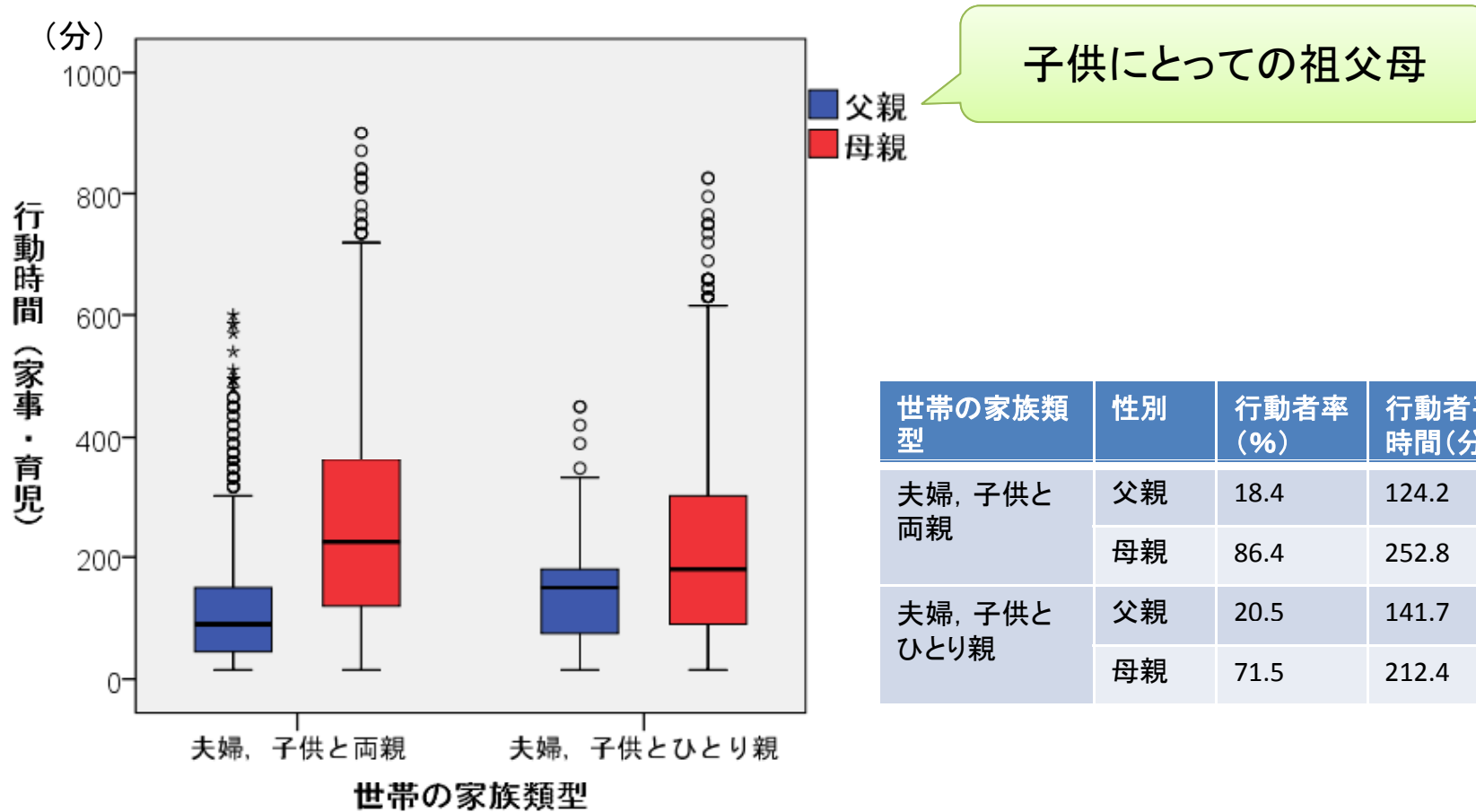
子供にとっての祖父母

共働きか否か	性別	行動者率 (%)	行動者平均時間 (分)
共働き (共に雇用され、妻の就業時間が週35時間以上)	父親	22.9	160.8
	母親	82.8	256.4
夫のみ有業	父親	21.7	123.1
	母親	78.2	200.4



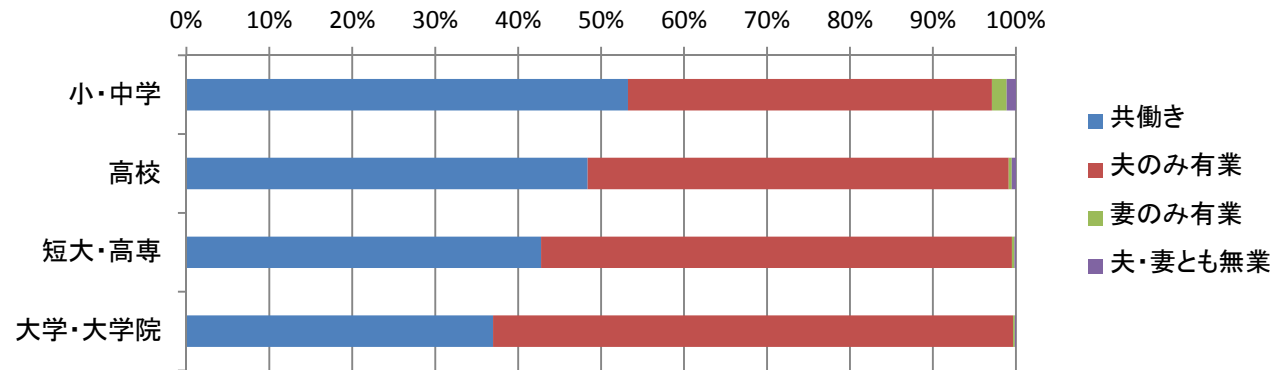
# 同居している親の行動時間の分布 （「世帯の家族類」別）

末子の年齢10歳未満

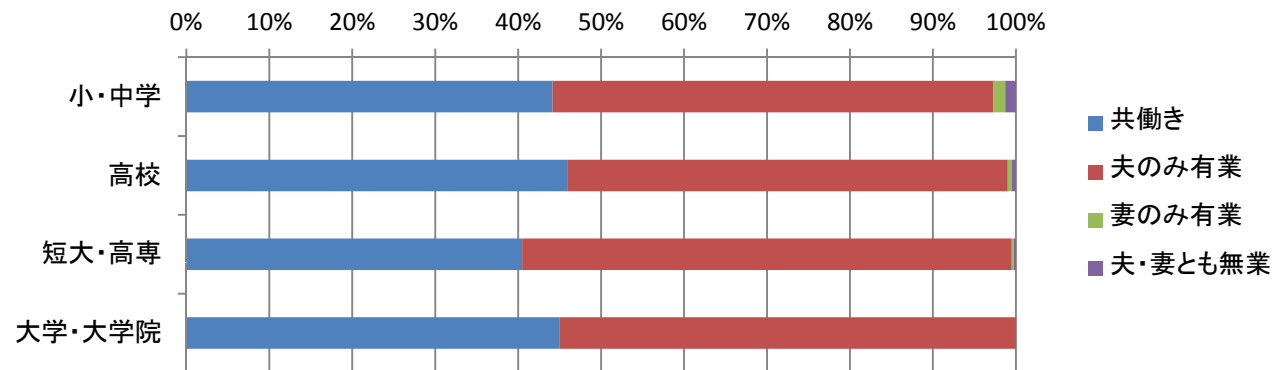


# 学歴と共働きの関係

## 夫の学歴(末子の年齢10歳未満)



## 妻の学歴(末子の年齢10歳未満)



※集計項目のうち「教育(卒業)」を用いて集計。在学中の人は集計に含めていない。

# まとめと今後の課題

- 共働き世帯のほうが、夫の家事・育児の参加率(行動者率)が高く、費やす時間は長い。
- 匿名データを利用することで、同居している親の活動についても、夫婦の世帯属性別に把握できる。
  - 共働き世帯の母親は、夫のみ有業の世帯の母親に比べて、家事・育児に費やす時間が長く、妻にとって平日の家事・育児には一定の時間的な負担軽減がみられる。日曜に関しては、時間的な負担軽減はみられない。
  - 夫のみ有業の世帯では、親と同居による妻の家事・育児の時間的な負担軽減はみられない。
- 夫、妻、親が、一緒に家事・育児を行っているか、分散して行っているか、世帯属性別に分析する。